

エコアクション21 環境活動レポート

(対象期間:平成24年6月～25年5月)



中野土建株式会社

発行日:平成25年 7月 22日

目 次

1 環境方針	1 P
2 事業活動の概要	2 P
3 環境目標と活動実績	3 P
4 主要な環境活動計画の内容	4 P
5 環境活動の取り組み結果の評価	5 P
6 代表者の評価	6 P
7 環境関連法規制の遵守状況	6 P

2. 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

中野土建株式会社
代表取締役社長 蔵谷 伸一

(2) 所在地 (認証・登録範囲)

本 社 長野県中野市西2丁目5番11号
 長野支店 長野県長野市大字栗田字北河原1038-8
 飯山支店 長野県飯山市大字下木島182
 山ノ内支店 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏字川原4106
 飯綱営業所 長野県上水内郡飯綱町大字普光寺字舟久保500-1
 機材センター 長野県中野市吉田1135-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者: 総務部長 中澤 敏二
 担 当 者 : 総務部 関 藤夫
 連絡先 電話: 0269 - 22 - 3175 ファックス: 0269 - 22 - 7855

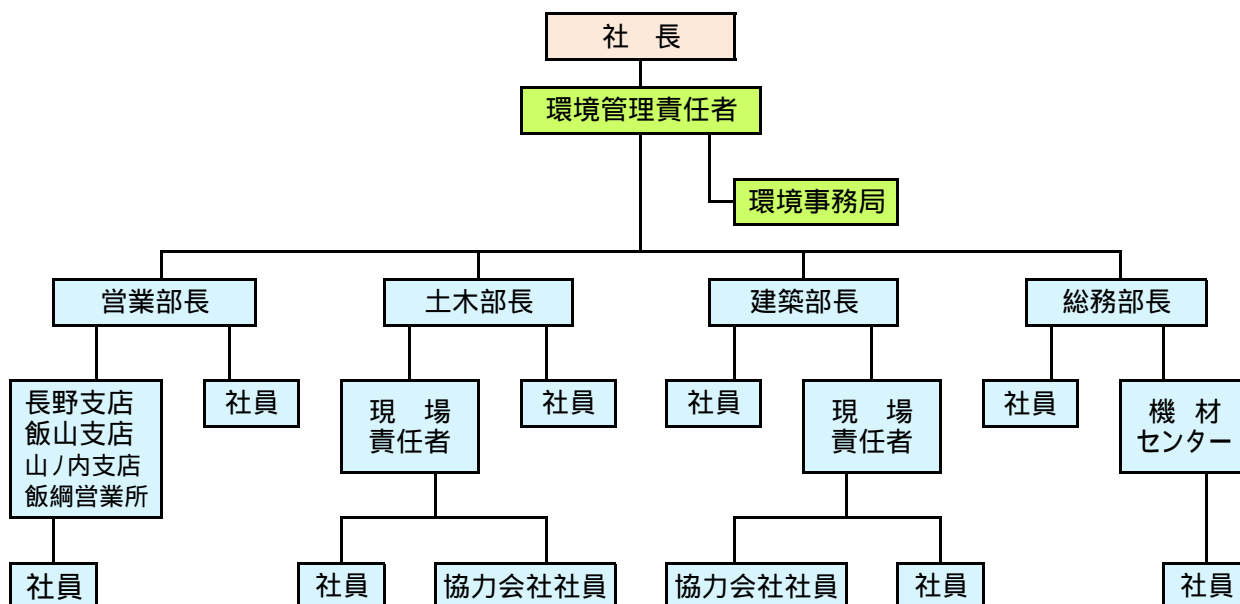
(4) 事業内容

ア 総合建設業 土木・建築・舗装・水道施設・大工・とび土工・管・鋼構造物等の各種事業
 イ 宅地建物取引業

(6) 事業の規模

完成工事高 39億円/年(65期 = 平成23年6月～24年5月)
 延べ床面積 1,760.17㎡(本社)

(7) 実施体制図



1. 環境方針

環 境 方 針

人類が生活しているこの美しい星”地球”の環境を守るため、誠実なる施工の理念を掲げた事業活動を通じて、社員一同が力を合せて環境への取組を進めます。

- 1 . 建設事業活動に関わる環境関連の法規等を遵守し、環境保全に努めます。
- 2 . 事業活動の中で、省資源・省エネルギーを進め、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3 . リサイクルを促進し、廃棄物の削減に努めます。
- 4 . グリーン購入を進めるとともに、環境負荷の少ない設計施工に努めます。
- 5 . この環境方針を全社員に周知するとともに、一般にも公開し、この取組の維持に努めます。

平成22年12月10日改訂

中野土建株式会社

代表取締役社長 藏谷 伸一

3. 環境目標と活動実績

事業所と建設現場の活動

		21年度	22年度	23年度	24年度		25年度	26年度	
項 目	単 位	(63期)	(64期)	(65期)	(66期)		(67期)	(68期)	
		基準年	実績	実績	目標	実績	目標	目標	
二酸化炭素排出量	kg - CO ₂ / 年	437,592	529,961	530,863	500,716	449,021	495,486	490,256	
電力	電力	kwh / 年	181,656	237,863	209,163	176,206	175,331	174,391	172,573
	灯 油	/年	43,865	31,424	31,226	42,549	25,758	42,548	41,672
	ガソリン	/年	48,227	53,267	35,460	45,816	24,675	45,333	44,851
	軽 油	/年	82,012	82,012	102,910	77,911	93,006	77,091	76,271
	L P G	m ³ / 年	363	321	378	345	354	341	338
廃棄物排出量									
一般廃棄物	一般廃棄物	トン / 年	10	7	5	10	5	9	9
	産業廃棄物	トン / 年	7,373	4,757	5,189	7,005	15,639	6,931	6,857
総排水量	m ³ / 年	1,168	984	1,087	1,109	952	1,098	1,086	
化学物質使用量	kg / 年	539	1,848	836	512	363	507	501	
事務用品グリーン購入	購入費当りのエコラベル商品購入費			実態調査	実態調査	実態調査	実態調査		
地域活動	社会貢献活動の回数			目標設定	目標設定		目標設定		

注 1 事業年度

事業年度は6月から翌年5月までです。

例：24年度の欄の数値は、平成24年6月から平成25年5月までの66期の数量を示しています。

注 2 二酸化炭素排出量

二酸化炭素排出量は事業所及び建設現場等の合計で示しています。

なお、購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.47kg - CO₂/kwh です。

注 3 地域活動

消防団協力事業所として認定

・平成23年2月 総務省消防庁

・平成22年1月 中野市



平成21年10月27日導入の電気自動車 三菱 アイ・ミーブ

4. 主要な環境活動計画の内容

取組項目		活動計画の内容
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み・使用していない部屋の消灯の徹底 ・空調温度の適正化 事務所：冷房 28、暖房 20 ・夏季における軽装でクーラー使用を抑制する ・工事現場における作業方法の見直し ・現場事務所の消灯や適切なエアコン使用 ・デマンド導入により、電気使用量の削減を図る
	軽油使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・燃費のよい車の導入(更新時) ・アイドリングストップの励行 ・急加速・急停車をなくす(エコドライブ) ・遠距離現場への相乗りの推進 ・現場への効率的な資材配送 ・電気自動車の利用促進 ・安全運転の励行
	灯油使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房による室温の適正な管理(暖房温度20) ・ブラインドやカーテン利用による熱の出入り調節 ・冬季における重ね着等服装の工夫による暖房費の抑制 ・工法や作業方法の見直でエネルギーの効率的利用 ・使わない部屋の暖房は行わない ・現場事務所においても不在時は暖房を抑制する
廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・再利用・リサイクルしやすい製品の購入 ・ごみの分別回収ボックスの適正設置 ・工事施行による建設副産物等のリサイクル促進 ・現場で発生する混合廃棄物を減らしリサイクル率を高める ・マニフェストを基に産業廃棄物の適正な処理
	一般廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底によるごみの減量 ・梱包材等のリサイクル促進 ・両面印刷、集約印刷等による紙使用量の削減 ・社内LAN、データベース活用によるペーパーレス化 ・使用済封筒、使用済用紙の再利用 ・再使用やリサイクルしやすい製品を優先的に使用する
総排水量削減		<ul style="list-style-type: none"> ・節水意識の高揚のためPR活動を深める ・洗車の回数を減らし、洗車時における節水を励行 ・工事現場における水の適正使用 ・水道管から野漏水がないか適時点検を行う
化学物質の使用量の制限		<ul style="list-style-type: none"> ・接着剤、防水材等の適正量使用 ・有害性化学物質使用の表示の徹底 ・有害化学物質の種類、含有量等の把握 ・生分解性等の環境にやさしい製品の使用促進 ・屋外での除草剤、殺虫剤の使用制限
事務用品のグリーン購入の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入対象品目(エコマーク商品)の調査 ・グリーン購入比率調査 ・社員のグリーン購入意識の高揚を図る
製品・サービスへの環境配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・建設現場周辺の自然との調和を指向する ・環境にやさしい施工や工法を採用する ・帰り荷や複数現場への共積み、乗合の励行 ・施工済の太陽光発電住宅の状況を把握し、太陽光発電の提案をする

5. 環境活動の取り組み結果の評価

(1) 取組結果と評価

取組項目	24年度目標	評価と今後の課題
二酸化炭素排出量削減	基準年度比 4.5% 削減	軽油(+19%)とLPG(+3%)が目標達成できなかったが、全体では10%程度目標を下回った。さらに環境活動の取り組みを高める必要あり。
電力使用量削減	基準年度比 3% 削減	目標未達成の月があったが期全体では目標を達成できた。5月から始めた太陽光発電がどの程度地域貢献できるか探っていく。
灯油使用量削減	基準年度比 3% 削減	寒さが厳しかった前期と比較して灯油の節減ができた。気候変動が激しいので厳冬の工夫が必要。(達成)
ガソリン使用量削減	基準年度比 5% 削減	遠隔地の現場が減少したことや取り組みの成果によりガソリン消費量が減少した。(達成)
軽油使用量削減	基準年度比 5% 削減	65期に災害復旧工事の受注や除雪燃料の増加により軽油の使用量が大幅に増加したため検討し、軽油だけ基準年を改めた。災害復旧工事が繰り越されたため目標を達成できなかった。
廃棄物排出量		
一般廃棄物	基準年度比 5% 削減	一般廃棄物の排出量を減らすことができ目標を達成した。今後、企業活動を通じて可燃ごみの削減を図る。
産業廃棄物	基準年度比 5% 削減	災害復旧工事によるアスコン等の廃棄物が増えて目標の2倍となり未達成となった。特殊要因によるもので前期は達成している。
総排水量	基準年度比 5% 削減	目標を達成できない月もあったが、期全体では目標を下回り達成した。
化学物質使用量削減	基準年度比 5% 削減	月によりバラツキがあったが、期全体では目標以下に納まった。MSDS収集保管により化学物質の削減に取り組む。
事務用品グリーン購入	グリーン購入対象製品実態調査	23年度から継続して実態調査を行っている。

(2) 最近の取組内容

本年5月から稼働をはじめた太陽光発電についてどの位の地域貢献ができるのか考え、太陽光発電の普及を目指します。

稼働開始年月日

平成25年5月17日

太陽光パネルの枚数 504枚

(3) 平成25年度の取組方針

全ての項目の削減目標を1%とし実現を目指すとともに、更新に相応しい環境活動計画づくりを進めます。

また、環境ロードマップを作成し、取組みの内容を自己評価し見直しを進めます。



太陽光発電 平成25年5月から稼働

6. 代表者の評価

2年間行動計画を進めてきて更新の年を迎えたが、目標未達成の項目が多い。今後目標達成に向けて活動を継続してほしい。

環境経営システムの運用を始めて3年目になるので、さらに社員や協力会社社員への啓発を行い、全員参加で活動を進めるための仕組みづくりをしてほしい。

7. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票運用、管理票交付状況報告	遵守
資源有効利用促進法	指定再資源化製品の自主回収・再資源化に協力	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成、発注者へ交付	遵守
浄化槽法	浄化槽工事業の登録と浄化槽設備士の設置 浄化槽設置(構造/規模変更時)届出と維持管理	遵守
騒音規制法・振動規制法	指定地域内における特定建設作業の届出	遵守
排ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	発注者への報告と対策型ステッカー貼付の建設機械使用(公共工事の場合)	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	発注者への報告と対策型ステッカー貼付の建設機械使用(公共工事の場合)	遵守
道路交通法	対象工事・作業実施時における道路使用許可申請	遵守
道路法	継続して道路を使用する場合、道路管理者への道路占用の許可申請	遵守
道路運送車両法	自動車の定期点検整備と点検整備記録簿の備付	遵守
消防法	防火管理者の選任と消防計画等の策定 貯蔵所、取扱所等の設置又は変更時の市町村長への許可申請 少量危険物の貯蔵と取扱、届出	遵守
中野市環境保全及び公害防止に関する条例(平成17年中野市条例第115号)	排水処理浄化槽設置と工事着手前の届出 保全区域内での建築物の新築増築、宅地の造成、土石の採取前の届出	遵守

(2) 違反、訴訟等

当社の企業活動に伴い適用される環境関連法規は上記(1)のとおりです。環境管理責任者中澤敏二が中心となり法規の遵守状況についてチェックを行い問題のないことを確認しました。

また、同様に関係機関及び近隣住民からの指摘、苦情、訴訟などは、現在及び過去3年間一件もありませんでした。